

収穫後の枝しょう管理法が異なる温州ミカン施設栽培樹の水挿し法による着花予測						
<p>[要約] 8月上旬せん定の夏枝母枝及び無せん定の春枝母枝では12月10日以降，9月上旬せん定の夏枝母枝では12月下旬以降，水挿し法によって着花が連続して確認できる。</p>						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成7年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

温州ミカン施設栽培で，的確な加温開始時期を判定するため，収穫後の枝しょう管理が異なる樹について水挿し法で着花を調査し，加温後の発芽・開花の状況と比較，検討した。

[成果の内容・特徴]

- ① 8月上旬のせん定後に発生した夏枝母枝及び無せん定の春枝母枝（無着花新しょう）には，12月10日以降になると着花が見られる（表1，2）。
- ② 9月上旬のせん定後に発生した夏枝母枝には，12月下旬以降になると着花が見られる（表1，2）。
- ③ 1月10日に加温を開始する場合，水挿し法による着花が少ない樹が，加温後の着花も少ない（表3）。

[成果の活用面・留意点]

春枝母枝でも，無着花新しょうと摘果枝及び果痕枝では着花程度が異なることが想定される。

[具体的データ]

表1 せん定方法及び母枝の種類と水挿し法による発芽、開花 (1994年)

項目	せん定 時期	母枝の 種類	母枝の採取日 (月.日)					
			12. 1	12. 8	12.14	12.20	12.27	1. 1
発芽節率 ² (%)	8.6	夏枝	23.3	34.2	81.7	85.8	93.3	92.5
	9.5	夏枝	67.4	36.4	95.0	86.7	83.8	85.8
	—	春枝	98.9	98.9	97.8	96.7	100.0	91.1
開花節率 ² (%)	8.6	夏枝	1.7	0.0	20.9	33.3	55.9	24.8
	9.5	夏枝	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	4.8
	—	春枝	21.1	19.7	17.8	23.3	29.1	27.8

² 水挿し後12日目の発芽節率及び開花節率

表2 せん定方法及び母枝の種類と水挿し法による発芽、開花 (1995年)

項目	せん定 時期	母枝の 種類	母枝の採取日 (月.日)					
			12. 1	12. 8	12.15	12.22	12.28	1. 5
発芽節率 ² (%)	8.9	夏枝	42.5	66.5	51.7	53.1	95.0	98.1
	9.5	夏枝	35.6	48.3	80.6	80.6	95.0	98.9
	—	春枝	79.7	94.7	95.3	96.5	94.4	100.0
開花節率 ² (%)	8.9	夏枝	6.7	12.7	6.7	16.7	33.3	35.0
	9.5	夏枝	0.0	0.0	0.0	5.6	3.3	10.0
	—	春枝	0.0	5.8	22.2	17.8	29.7	24.4

² 水挿し後10日目の発芽節率及び開花節率

表3 せん定方法、母枝の種類と発芽率及び着花程度 (1994年, 1995年)

年度	せん定 時期	母枝の 種類	発芽節率 (%)	全節数当たり 着花率 (%)	発芽節数当たり 着花率 (%)	母枝当たり 着花数	直花率 ² (%)
1994 ^y	8.6	夏枝	63.9	70.7	108.7	6.1	86.3
	9.5	夏枝	49.9	41.7	81.7	3.4	42.0
	—	春枝	88.3	134.0	151.3	9.1	77.0
1995 ^y	8.9	夏枝	78.3	109.2	137.0	7.6	92.6
	9.5	夏枝	77.6	60.4	80.4	4.3	28.6
	—	春枝	66.1	98.4	152.6	6.3	75.3

² 全花数に対する直花数の割合

^y 1994年, 1995年とも 1月10日加温開始

[その他]

研究課題名: ハウスみかんの樹勢強化と休眠機構の解明

予算区分: 県単

研究期間: 平成7年度 (平成6年~9年)

研究担当者: 濱口壽幸, 岸野 功

発表論文等: 平成7年度 長崎県果樹試験場業務報告。

残された問題点: 収穫後の枝しょう管理法が異なる樹について, 水挿し法による着花と加温後の発芽, 開花との関係について, 引き続き検討する必要がある。